

PLR 細胞株および MCC 細胞株を用いて作製した疾患モデルの特徴解析

研究目的およびその内容

本研究は、癌の進展、転移、治療抵抗性に関わる分子メカニズムを明らかにすることを目的として、Pharma Logicals Research Pte. Ltd (PLR)にて樹立されたヒト由来細胞株および宮城県立がんセンターにて収集したヒト癌組織より樹立された細胞株 (MCC 細胞株) を用い、培養条件や各種阻害剤などによる影響について、遺伝子発現やエピゲノム状態などに注目した解析を行います。本研究は、東京大学先端科学技術研究センターと共同研究により実施します。

研究実施期間

2017年6月9日～2021年3月31日

研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、シンガポールの臨床研究組織 Parkway Laboratory Services & Functional Genomic Research Centre が、2002年9月から2009年10月の間に、提携医療機関より研究利用の同意を取得し提供されたがん組織またはその組織より樹立した細胞株及び、RNA等の細胞抽出液、宮城県立がんセンターが、2010年から2017年の間に研究利用の同意を取得し樹立された細胞株及び、RNA等の細胞抽出液を用いて研究を行います。

本研究における試料・情報提供の範囲、公開方法

本研究では、解析の一部について東京大学先端科学技術研究センターで実施されます。また、解析の一部を別表1の委託先リストにある委託先に委託し研究を行います。そのため細胞抽出液などの試料を共同研究先、委託先に提供します。本研究の結果は、共同研究先、及び国内及び海外にある中外製薬関連会社の間で共有されます。また本研究の成果は、個人を特定できないようデータを加工した後、学会、論文等で公開します。

研究責任者

中外製薬株式会社	創薬企画推進部	平田裕一
東京大学	先端科学技術研究センター	油谷浩幸

2020年1月24日一部改訂

別表1 委託先リスト

アメリエフ株式会社	株式会社鎌倉テクノサイエンス
株式会社中外医科学研究所	株式会社テクノプロ テクノプロ・R&D 社
株式会社パソロジー研究所	株式会社未来創薬研究所
株式会社 iLAC	公益財団法人実験動物中央研究所
タカラバイオ株式会社	

2020年5月14日現在